

フルリクライニング車椅子 取扱説明書

型番 RJ-370



目次

まえがき	2
表示記号のご説明	2
フルリクライニング車椅子RJ-370 について	3
使用目的	3
特長	3
各部の名称	4
ご使用前の準備	5
バックサポートの固定方法	5
ご使用になる前に	8
安全上の注意	8
使用前点検	12
使用方法	13
フットサポートの高さ・角度調整	13
ヘッドサポートの調整	15
ブレーキ操作・調整(駐車用ブレーキ)...	17
ブレーキ操作(制動用ブレーキ)	18
リクライニング操作	19
レッグサポート連動・単独の切替え	20
レッグサポートの角度調整	21
フットサポート・レッグサポートの 収納方法	22
アームサポートの高さ調整	23
段差乗越え方法	24
車載方法	26
日常のお手入れ	27
お手入れ方法	27
消耗品の名称	28
消耗品の交換時期	29
トラブルシューティング	30
ご使用期間とアフターサービスについて	31
ご使用期間について	31
修理を依頼されるときは	31
仕様	32
保証書	

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

正しく安全にご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

なお、この取扱説明書には、保証書が付いております。

取扱説明書の内容、および保証書の内容がいつでも確認できるよう、大切に保管してください。

本製品を安全にご使用いただくには、本書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、ご使用ください。

本製品は、日本国内専用の仕様となっており、日本国外では使用できません。したがって、万が一、本製品を日本国外で使用された場合、本製品の故障および本製品の使用に伴って発生した損害に対して、弊社はその責任を負いません。

また、本書で説明している使用方法および安全に関する注意事項は、本製品を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。本書で説明していない使用方法是、行わないでください。仕様の変更により、本書の内容の中に、お買上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買上げの製品または本書の内容につきましてご質問がございましたら、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。

表示記号のご説明

本製品および本書には、使用者および他の人への危害や損害を未然に防ぐため、安全上の注意を次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味を十分にご理解のうえ、安全上の注意を必ずお守りください。

●表示の意味

⚠ 危険…誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが予想される内容を説明しています。

⚠ 警告…誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が予想される内容を説明しています。

⚠ 注意…誤った取扱いをすると、人がケガを負う可能性および本製品の故障につながる可能性が予想される内容を説明しています。

注意…本製品の故障を防ぐための注意事項や、より快適にご使用いただくためのアドバイスなどの内容を説明しています。

●記号の意味

⊘ 禁止することを説明しています。

⚠ 注意することを説明しています。

❗ 要請することを説明しています。

フルリクライニング車椅子 R J - 3 7 0 について

使用目的

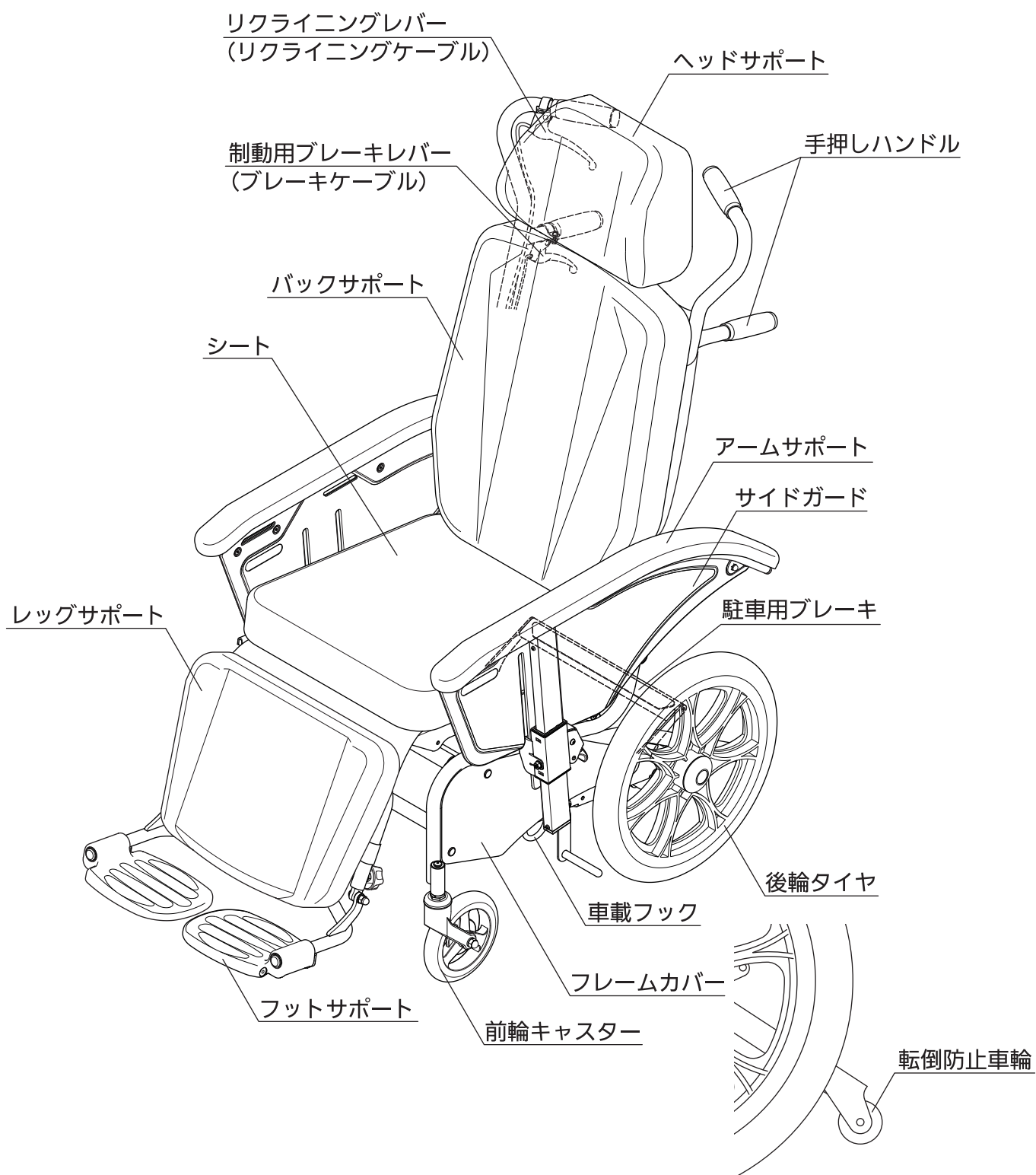
本製品は仮眠から外出まで使える、フルリクライニング車椅子です。

特 長

- ・バックサポートとシートが連動し、効果的な体圧分散の実現と床ずれを防止します。
- ・バックサポートとレッグサポートのスライド機能により、リクライニング時に感じる身体のズレや圧迫感を軽減します。
- ・レッグサポートをバックサポート連動リクライニングと、単独角度調整に切替えることができますので、ご利用者に合わせた最適な状態を選ぶことができます。
- ・座面には専用のゲルクッションを採用していますので、床ずれ防止、座位保持効果があり、長時間座っていても快適に過ごすことができます。
- ・ヘッドサポートは上下、前後、角度に加え、左右位置の調整ができますので、ご利用者に合わせた最適な位置を選ぶことができます。
- ・手元での制動用ブレーキレバー、足踏みによる駐車用ブレーキを設けています。
- ・レッグサポート、およびフットサポートが収納できます。
- ・バックサポート部分が折りたたみ、コンパクトに収納することができます。
- ・アームサポートは高さが7段階に調整でき、サイドガードがご利用者の手足のはさみ込みを防ぎます。
- ・後輪タイヤはノーパンクタイヤを採用していますので、空気管理(補充)の必要がなく、適度なクッション性があります。

フルリクライニング車椅子 R J - 3 7 0 について

各部の名称

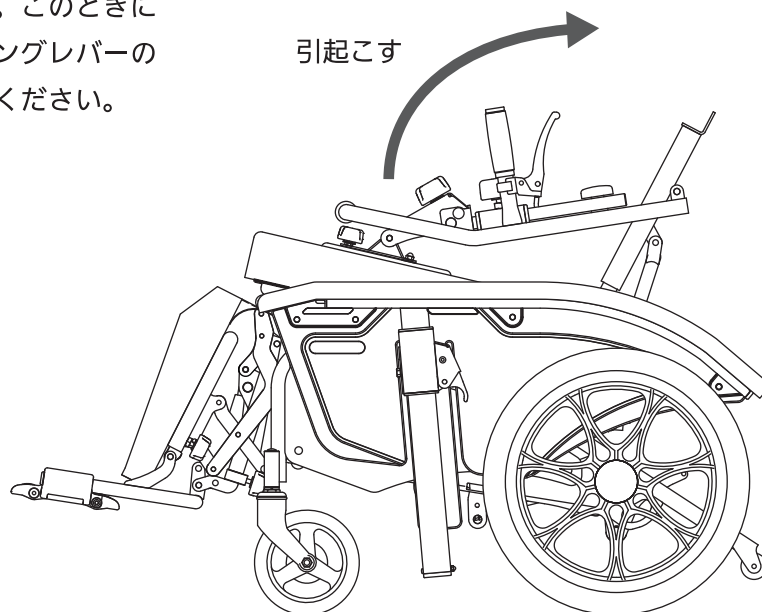


ご使用前の準備

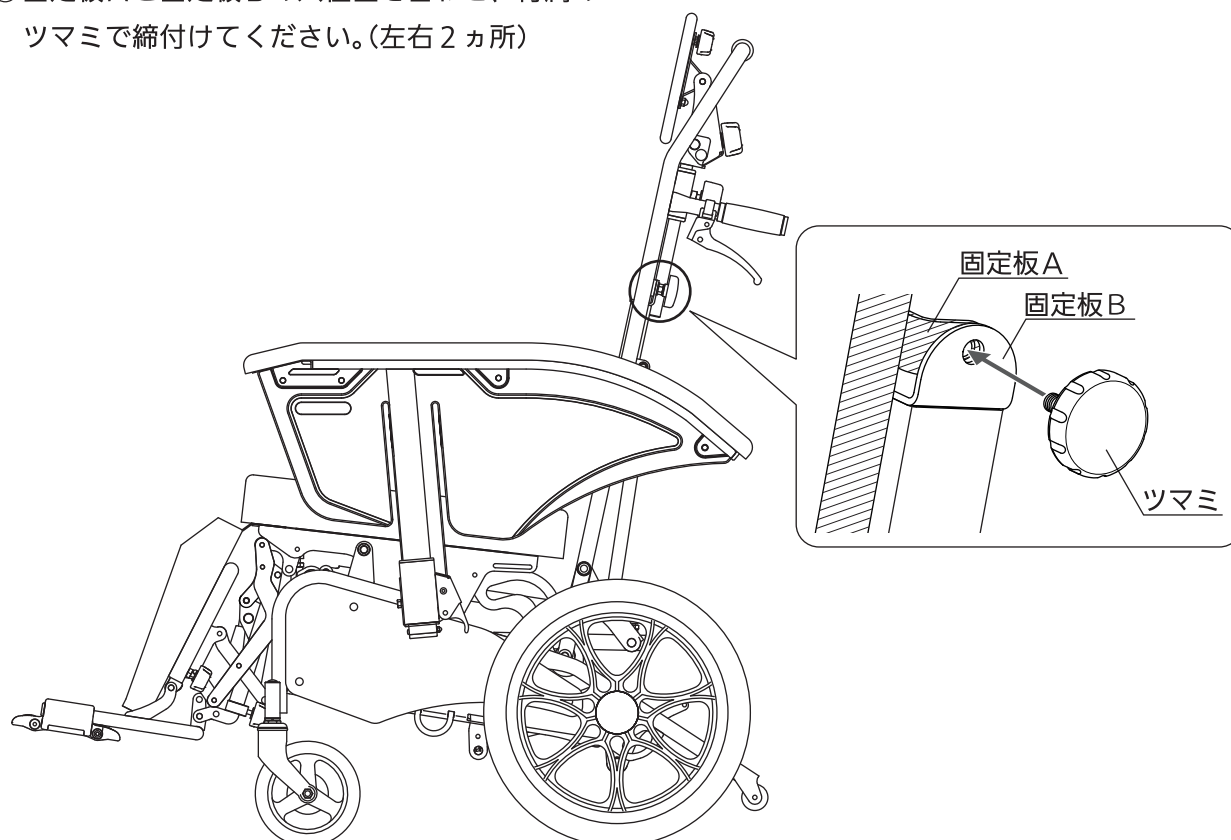
バックサポートの固定方法

本製品は、バックサポートを少しリクライニングさせ、折りたたんで出荷しております。バックサポートを起こしてしっかりと固定し、バックサポートのカバーを取付けてご使用ください。バックサポートを折りたたんだ状態では駐車用ブレーキを踏まないでください。バックサポートの固定方法を以下に説明しています。収納の際は、逆の手順によりバックサポートを折りたたみますとコンパクトに収納できます。

- ①バックサポート上部を引起こします。このときに制動用ブレーキレバー・リクライニングレバーのケーブルを挟まないように注意してください。



- ②固定板Aと固定板Bの穴位置を合わせ、付属のツマミで締付けてください。(左右2ヵ所)

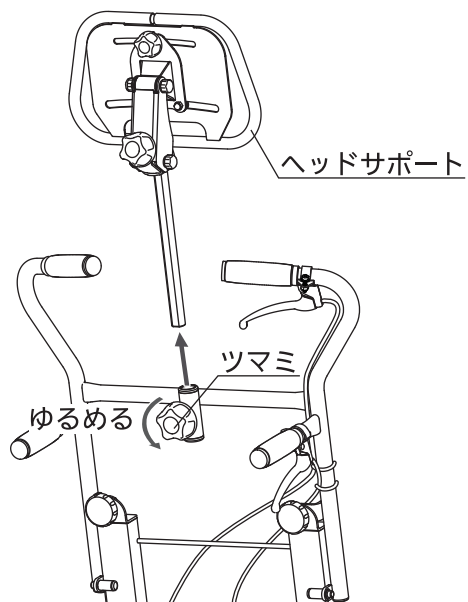


ご使用前の準備

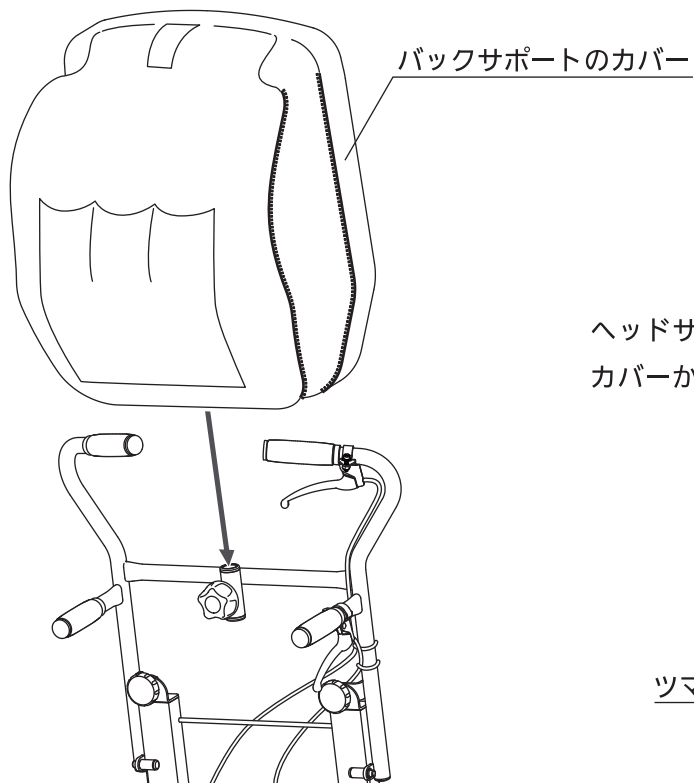
③ 手押しハンドルを持ちながら、本体を軽く前後に動かし、バックサポートがしっかりと固定されていることを確認してください。

④ バックサポートのカバーを取付けます。

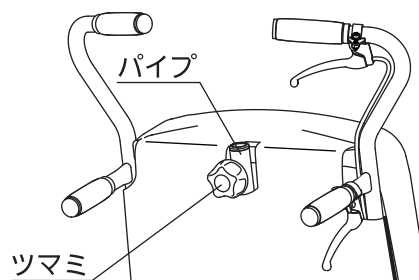
I. ツマミをゆるめ、ヘッドサポートを上方に引抜きます。



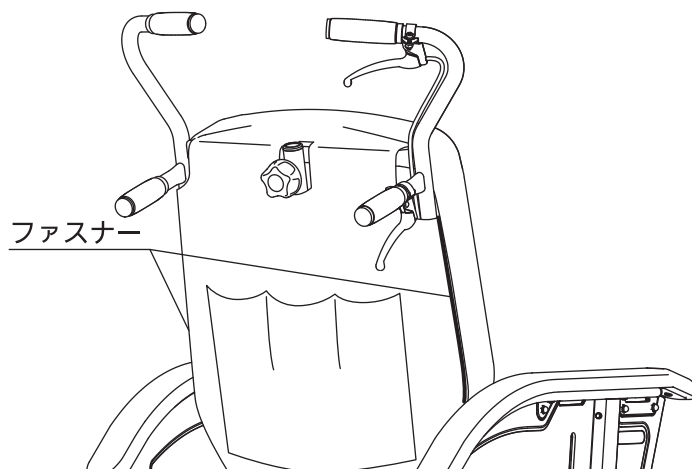
II. バックサポートのカバーを取付けます。



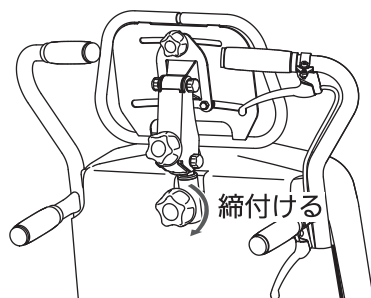
ヘッドサポート取付け部のパイプとツマミを
カバーから出します。



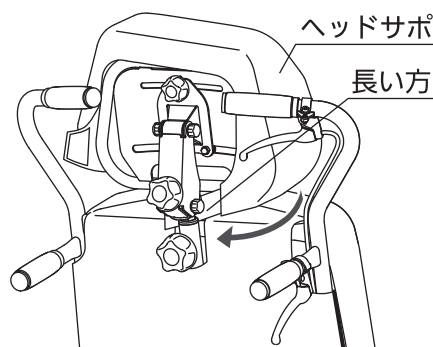
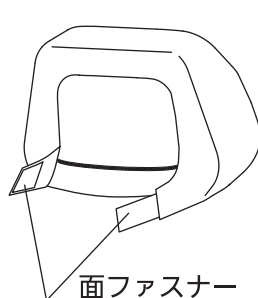
Ⅲ. バックサポートのカバーの両側にあるファスナーを上げます。



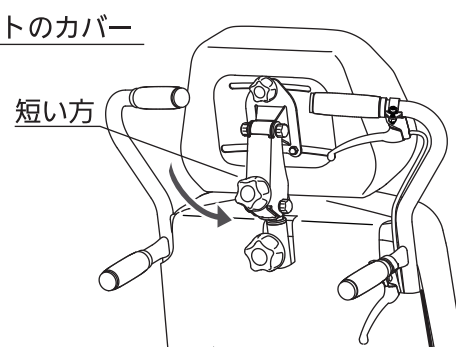
Ⅳ. ヘッドサポートを差込み、ツマミを締付けて固定します。



Ⅴ. ヘッドサポートのカバーを取付けます。



面ファスナーの長い方から、
ヘッドサポートの骨材に沿わせ
るようにしてかぶせます。



面ファスナーの短い方をやさしく
引きながら全体をかぶせます。両
方の面ファスナーをやさしく引き
ながら中央で合わせます。

注意



ヘッドサポートのカバーを取付けるときは、必要以上に強く引っぱらないように注意してください。

- なお本製品は、出荷時にはレッグサポートを単独角度調整状態に設定しております。
(設定の切替えについては本書 20 ページ参照)

ご使用になる前に

安全上の注意事項

次の内容および本製品に表示された安全上の注意を必ずお守りください。
これら安全上の注意以外であっても、無理な使用はしないでください。

●製品全体の安全上の注意

⚠ 危険

	本製品に修理が必要な場合は使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
	本製品の改造はしないでください。改造が必要な場合は、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。 …事故、故障の原因になります。
	小さなお子様や取扱説明書の内容が十分ご理解できないと思われる方には操作させないでください。また、いたずらや本製品の目的以外での使用はしないでください。
	本体に貼付けてあるシールの内容は、安全上および本製品を正しくご使用いただくために非常に重要ですので必ずお守りください。

⚠ 注意

	本製品を使用するときは、周囲の安全を確認してから操作してください。特にリクライニングさせるときは、足場が安定しているかを確認してください。
---	---

注意

	高熱を発するものの近くには置かないでください。 …火災、変形、故障の原因になります。
	直射日光の当たる所に放置しないでください。 …長時間直射日光が当たると製品劣化の原因になります。

ご使用になる前に

●使用時の安全上の注意

⚠ 危険

	本製品の耐荷重は100kgです。100kgを超える方には使用しないでください。
	本製品は1人用です。必ず1人の方にご使用ください。
	介助者は、ご利用者を乗せたまま本体から離れないでください。 …転落、転倒の危険があります。
	アームサポートや駐車用ブレーキ、制動用ブレーキなど本製品の各操作は、必ず介助者が安全を確認したうえで行ってください。
	介助するときは介助者が本体に乗ったり寄りかかることはしないでください。
	ご利用者が乗っている状態では本体を持上げないでください。
	ご利用者を本体に乗せたときは、転落防止のため、必ずアームサポートを上げて、ロックされていることを確認してご使用ください。 …転落、転倒、ケガなどの危険があります。
	移動中は床面の溝や踏切などで前輪キャスターや後輪タイヤが脱輪しないように注意してください。
	移乗するときは必ず介助者がサポートし、安全に行ってください。
	介護用リフトの場合を除き、移乗するときは必ず駐車用ブレーキをかけ、本体が動かないことを確認してから行ってください。 …転落、転倒、ケガなどの危険があります。
	フットサポートの上で立上らないでください。 …転倒の危険があります。
	シートに座るときは勢いよく座らないでください。 …転落、転倒、ケガなどの危険があります。
	バックサポートのポケットに1kg以上の重いものを入れないでください。 …過度の荷物はバランスを崩しての転倒や、破損する恐れがあります。
	介助者はご利用者の衣服や身体が後輪タイヤや前輪キャスター、および本体の骨材などにはさまれていないこと、確実にシートに座っていることを確認してから操作してください。また、走行中もご利用者の身体が後輪タイヤや前輪キャスター、および本体の骨材にはさまれないように注意してください。

⚠ 注意

	傾斜地では十分注意して走行してください。 …転倒、ケガなどの危険があります。
	駐車用ブレーキを使用して本体を駐車するときは、床面の傾斜の少ない場所を選んでください。 …傾斜のある場所での駐車は転倒などの恐れがあります。
	段差や凹凸のある路面などを走行するときには、前のめりにならないように注意してください。
	段差を乗越えるときは勢いをつけて乗越えないでください。 …転倒、故障の恐れがあります。
	ご利用者に大きな振動を与えないために、急な方向転換などはしないでください。
	搬送中にスロープなどの傾斜を通るときには、上るときも下るときも介助者が傾斜の下側になるようにしてください。本体が下側になるような状態でのご使用は危険なため、しないでください。  
	搬送中にご利用者が身体を乗出すなどして、安定性を損なうことのないようにしてください。
	搬送中はご利用者の足がフットサポートから落ちないようにしてください。フットサポートとレッグサポートのすき間からかかとが脱落しないようにしてください。
	後輪タイヤや前輪キャスターに異物が巻付いた状態では使用しないでください。異物が巻付いたときは、完全に取除き、車輪取付部のナットにゆるみがないことを確認してからご使用ください。
	本製品は防水構造ではありません。浴室など水がかかる場所や、湿度の高い場所では使用しないでください。雨天時の屋外での使用も避けてください。また、水洗いはしないでください。 …故障、錆の原因になります。
	転倒防止車輪と床の間で介助者の足をはさまないように注意してください。

注意

	アームサポートを移動時の持ち手として使用しないでください。 …故障の原因になります。
---	---

ご使用になる前に

●お手入れや保管時の安全上の注意

⚠ 注意

	無垢材の床に本製品を保管するときは、マットなどを敷いて前輪キャスターが床に直接触れないようにしてください。 …床の材質によっては、数時間同じ場所に置くと、前輪キャスターが床にシミをつける恐れがあります。
	前輪キャスター、後輪タイヤは消耗品です。車輪の動きが悪くなったとき、ブレーキの効きが悪くなったとき、しっかり固定されているのにがたつくとき、タイヤ表面にひび割れや劣化が現れたときは、使用を中止し、新品に交換してください。 …転倒、ケガなどの危険があります。
	自動車内や直射日光の当たる場所、あるいは高温多湿になる場所での保管はしないでください。 …変形、変質、劣化の原因になります。

ご使用になる前に

使用前点検

ご使用前に、毎回必ず使用前点検し、項目をすべてクリアした場合に限りご使用ください。
ひとつでもクリアできない項目があった場合は使用を中止し、対処方法に従ってください。

使用前点検項目		対処方法
バックサポートはしっかりと固定されていますか。 (しっかりと固定されていないとき→NO)	▶ NO	固定用のツマミをしっかりと締付けてください。 (本書 5 ページ参照)
前輪キャスター・後輪タイヤにガタはありませんか。 (あるとき→NO)	▶ NO	前輪キャスター・後輪タイヤの固定部のゆるみや劣化が考えられます。 使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
駐車用ブレーキにより後輪タイヤの回転は止まりますか。 (後輪タイヤが回転するとき→NO)	▶ NO	調整してください。 (本書 17 ページ参照)
制動用ブレーキの効きは十分ですか。 (ブレーキの効きがあまいとき→NO)		使用を中止し、ご購入先または弊社営業所までご連絡ください。
アームサポートの高さ調整後は、アームサポートが完全にロックされていますか。 (ロックがかからないとき→NO)		
人が乗っていない状態でリクライニングさせて、異音はありませんか。 (あるとき→NO)	▶ NO	
操作中、気になるがたつきはありませんか。 (あるとき→NO)		
操作中、気になる音はしませんか。 (音がするとき→NO)		
消耗品は大丈夫ですか。 本書 28～29 ページ参照 (交換時期になっているとき→NO)		

⚠ 注意



使用前点検項目以外でも、おかしいと感じたり、今までと違うような気がした場合は、絶対に使用せず、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。お客様の判断で本書に表示されていない内容の対処はしないでください。

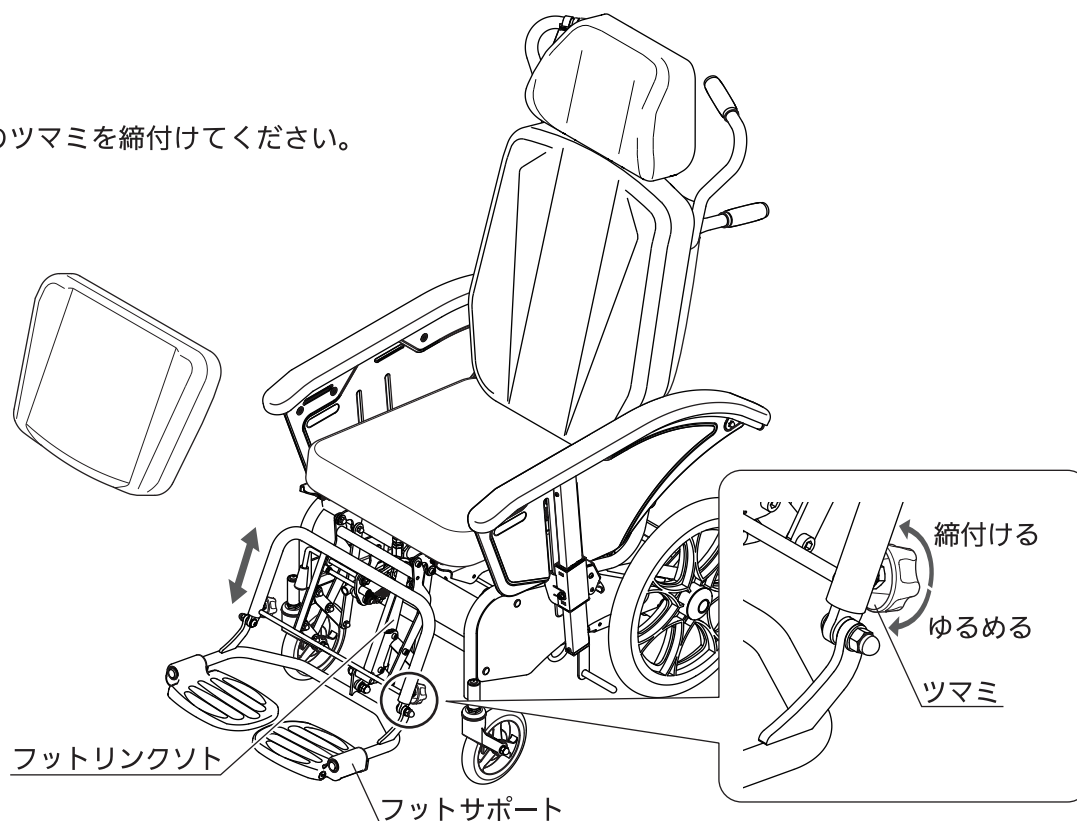
使用方法

フットサポートの高さ・角度調整

本製品は、フットサポートの高さを調整することができます。

- ① フットサポートを支えながら左右のツマミをゆるめ、フットサポートを上下させてご利用者の足の位置に合わせます。

- ② 左右のツマミを締付けてください。



⚠ 注意

	フットサポートの確実な締付けとフットリンクソトの抜けを防ぐために、フットチョウセツには目印の穴があいています。この穴が見えない範囲で調整してください。	
	締付けが不完全な状態で使用されますと、思わぬ事故につながる恐れがあります。フットサポートが固定できない場合は、使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。	

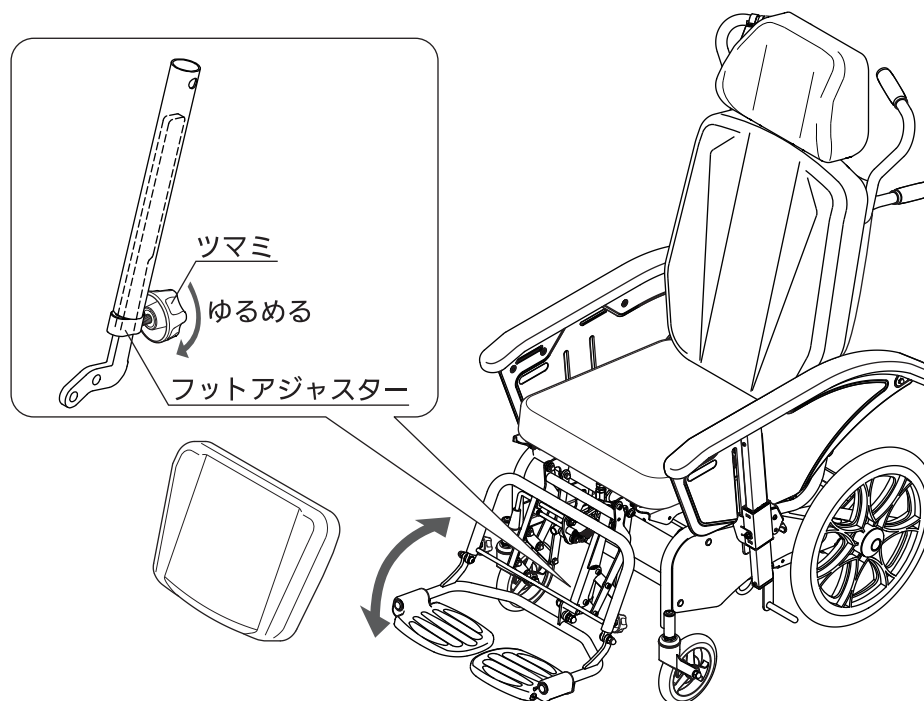
注意

	フットサポートの高さを調整すると角度も変化します。高さを調整した際は必ず角度調整を行ってください。
--	--

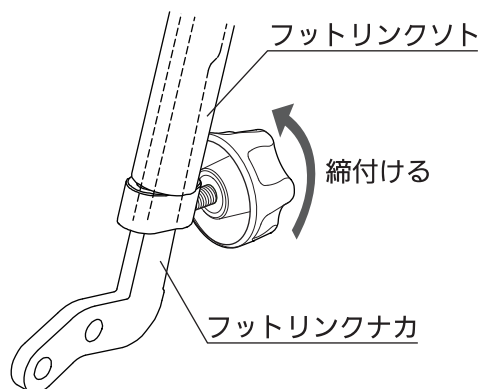
使用方法

本製品は、フットサポートの角度を調整することができます。

① フットアジャスターのツマミをゆるめ、フットサポートを適当な角度に設定します。



② フットアジャスターをフットリンクソトに当てた状態でツマミをしっかりと締付けてください。



⚠ 注意



締付けが不完全な状態で使用されますと、思わぬ事故につながる恐れがあります。
フットサポートが固定できない場合は、使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。

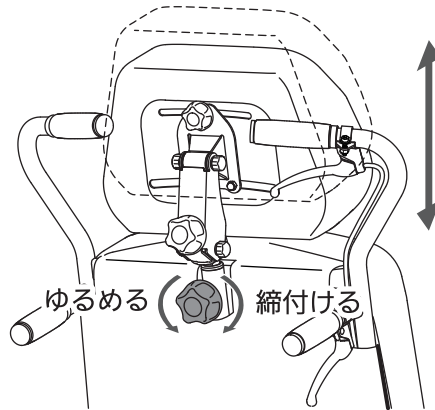
ヘッドサポートの調整

ヘッドサポートは①上下、②前後、③角度、④左右の調整が可能です。

①上下調整

バックサポート後方のツマミをゆるめると上下調整ができます。

調整後はツマミを締付けて固定します。



注意

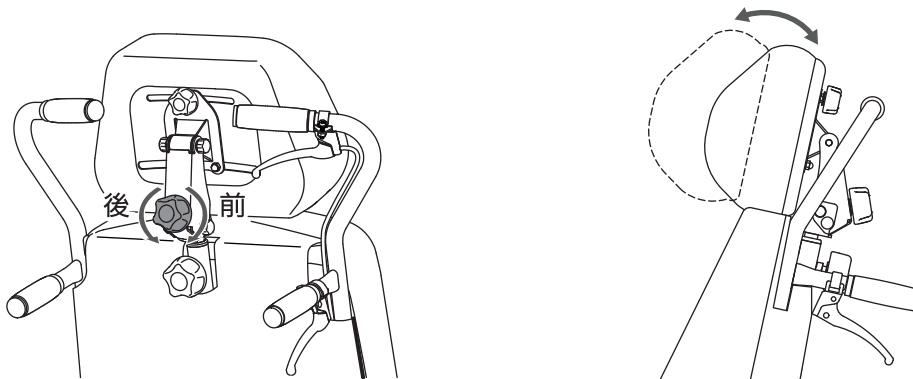


上下調整の後はツマミをしっかりと締付け、ヘッドサポートが動かないことを確認してください。

②前後調整

ヘッドサポート後方の下側ツマミを回すと前後調整ができます。

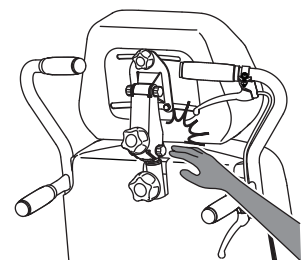
右に回すと前へ動き、左に回すと後ろに動きます。



注意



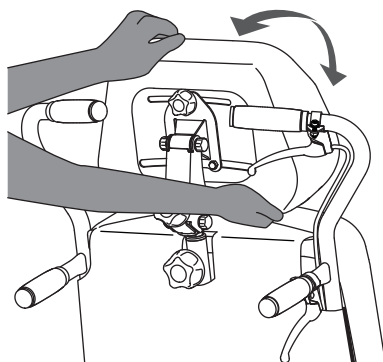
前後調整の際は、指をはさまないように注意してください。



前後調整をすると高さや角度も変化します。前後調整と合わせて上下、角度の調整を行ってください。

③角度調整

ヘッドサポートを直接動かすことで角度調整ができます。



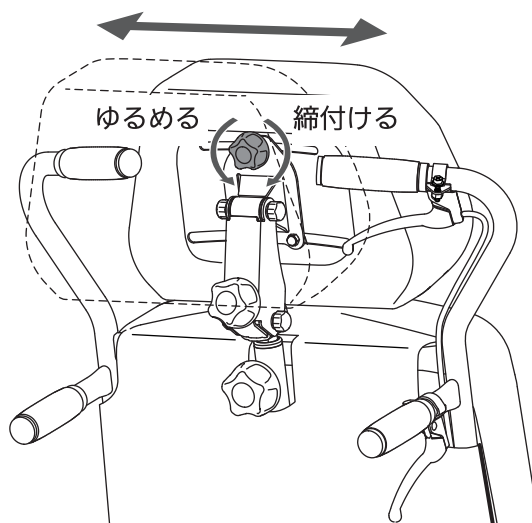
注意

	角度調整の際は、指をはさまないように注意してください。	
	角度調整の際は両手で操作してください。 …カバー破損の原因となります。	

④左右調整

ヘッドサポート後方の上側ツマミをゆるめると左右調整ができます。

調整後はツマミを締付けて固定します。



⚠ 注意

	左右調整の後はツマミをしっかりと締付け、ヘッドサポートが動かないことを確認してください。
--	--

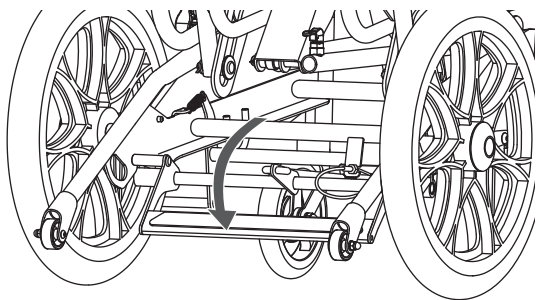
使用方法

ブレーキ操作・調整（駐車用ブレーキ）

本製品は、駐車時に使用する駐車用ブレーキと走行時に使用する制動用ブレーキがあります。

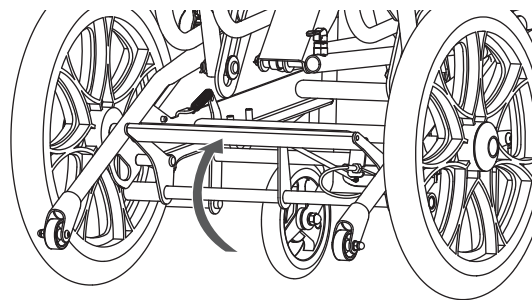
●ブレーキをかける

足元にある駐車用ブレーキのペダルを踏込むと
後輪タイヤにブレーキがかかります。



●ブレーキを解除する

駐車用ブレーキのペダルを上方に跳上げると
ブレーキが解除されます。



⚠ 警告



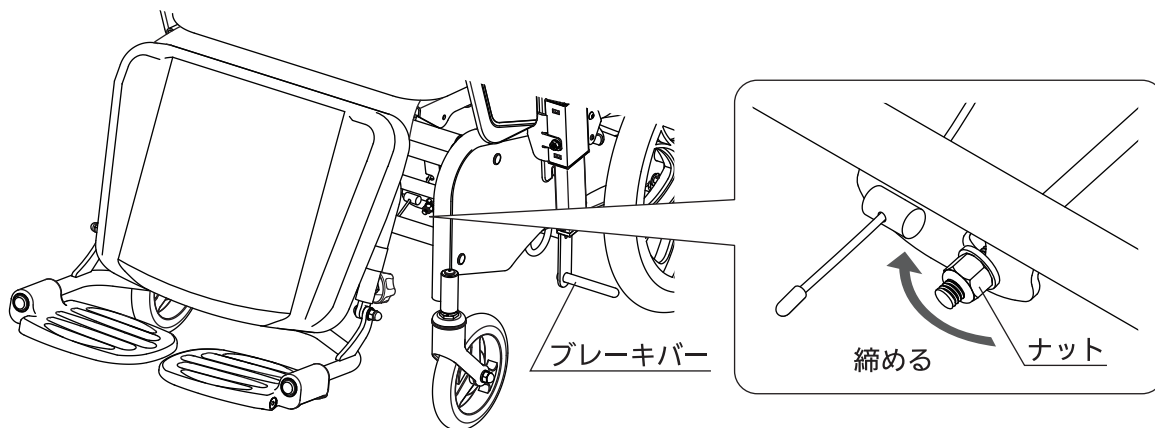
駐車用ブレーキを使用して本体を駐車するときは、床面の傾斜の少ない場所を選んでください。
…傾斜のある場所での駐車は転倒などの恐れがあります。

●駐車用ブレーキの調整

駐車用ブレーキの効きが悪いときには、次の手順で調整してください。

スパナ(対辺10)を用意してください。

①スパナ(対辺10)でナットを図の矢印の方向に回してください。ブレーキ力が増します。



②後輪タイヤには、多少のゆれがあります。ブレーキ解除時に後輪タイヤを回転させ、ブレーキバーに干渉していないか確認してください。干渉している場合は、上図矢印の反対に回すことでブレーキバーが離れます。

注意



調整後は、必ず駐車用ブレーキの効き具合を確認してください。

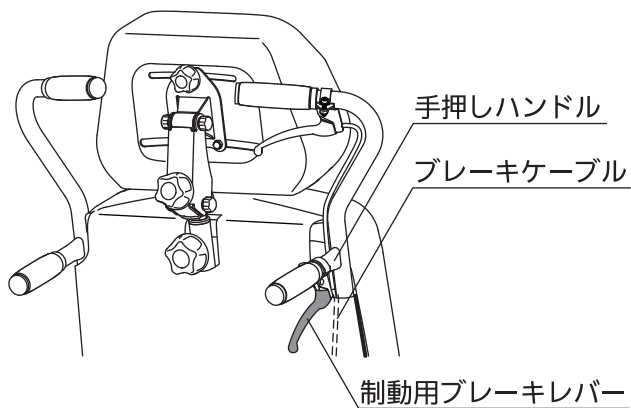


ナットは完全にはずさないでください。

使用方法

ブレーキ操作(制動用ブレーキ)

右側下方の手押しハンドルの制動用ブレーキレバーを握ると後輪タイヤにブレーキがかかります。



⚠ 注意



手押しハンドルの根元にシールで表示しています。リクライニングレバーと間違えないようにしてください。

注意



ブレーキケーブルに強い力を加えないようにしてください。

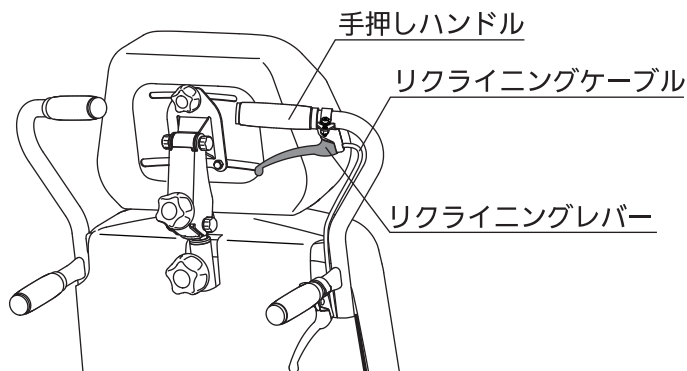
使用方法

リクライニング操作

右側上方の手押しハンドルのリクライニングレバーを握るとリクライニングができます。

リクライニングレバーを握りながらバックサポートの角度を変えてください。

リクライニングレバーを離れた位置でバックサポートが保持されます。



⚠ 警告

❗	リクライニング操作は、必ず駐車用ブレーキをかけてから行ってください。
❗	リクライニングによりご利用者の状態を変化させる場合には、ご利用者の様子を見ながらゆっくりと操作してください。少しでもご利用者に異常が見られたときには、直ちにその操作を中止してください。
⚠	リクライニング状態から元に戻す場合には、ご利用者の腕をアームサポートとバックサポートの間にはさまないようにしてください。
❗	関節などに痛みが生じやすいご利用者（リウマチや骨粗しょう症の重度の場合など）を初めてリクライニングさせる場合には、慎重にゆっくりと操作してください。また、事前に医師やセラピスト（PT・OT）などの専門家にご相談ください。

⚠ 注意

⚠	手押しハンドルの根元にシールで表示しています。制動用ブレーキレバーと間違えないようにしてください。
---	---

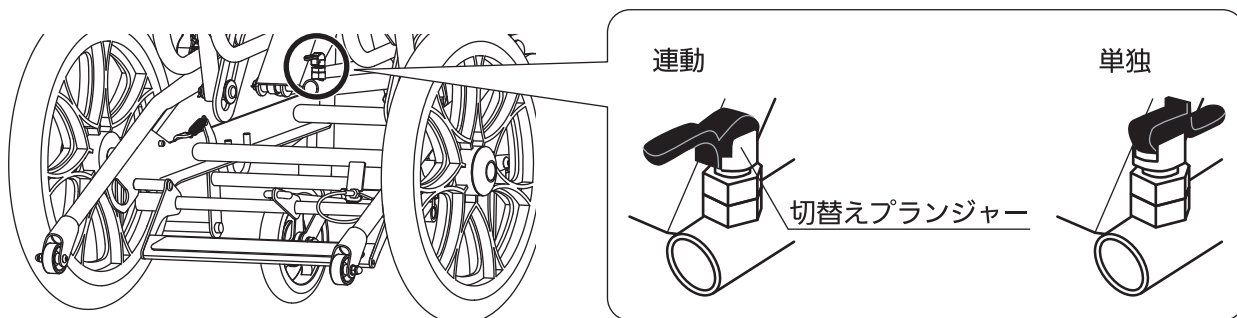
注意

⊘	リクライニングケーブルに強い力を加えないようにしてください。
---	--------------------------------

レッグサポート連動・単独の切替え

切替えプランジャーの操作方法

切替えプランジャーは本体の後ろにあります。



⚠ 注意

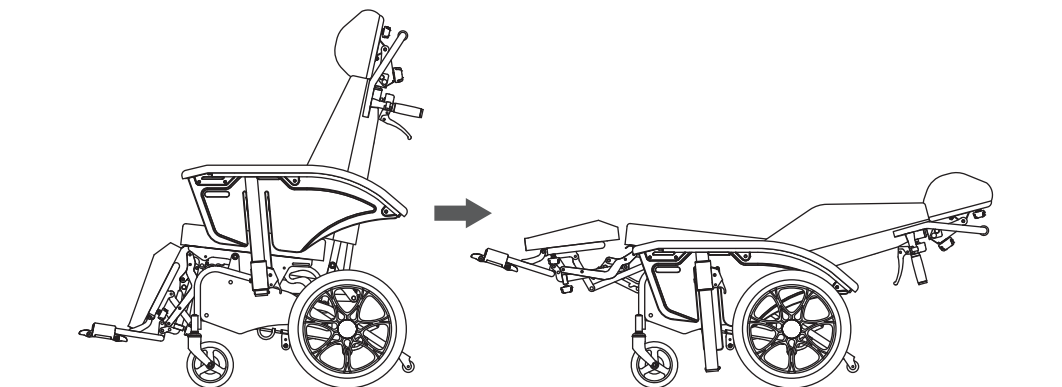


切替えプランジャーを操作するときは、必ずバックサポートを完全に起こしてください。

●レッグサポート連動設定のリクライニング

体圧分散に最適なタイミングで、バックサポートの角度変化にレッグサポートが連動して動きます。

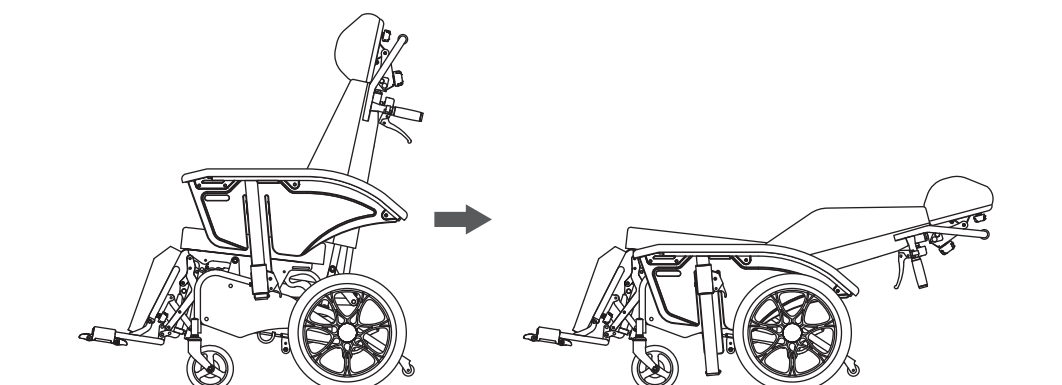
バックサポート下部にある切替えプランジャーを連動の位置にしてご使用ください。



●レッグサポート単独設定のリクライニング

バックサポートの角度にかかわらず、レッグサポートの角度をお好みの位置に手で調整できます。

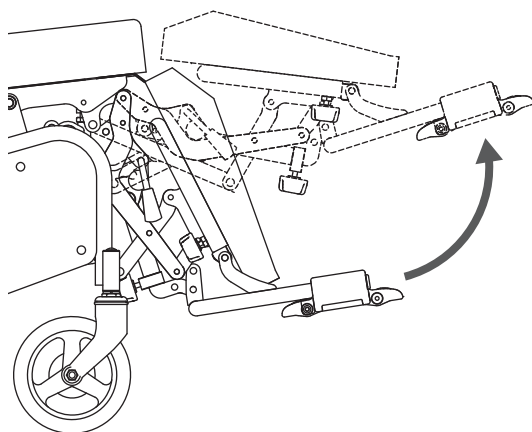
バックサポート下部にある切替えプランジャーを単独の位置にしてご使用ください。



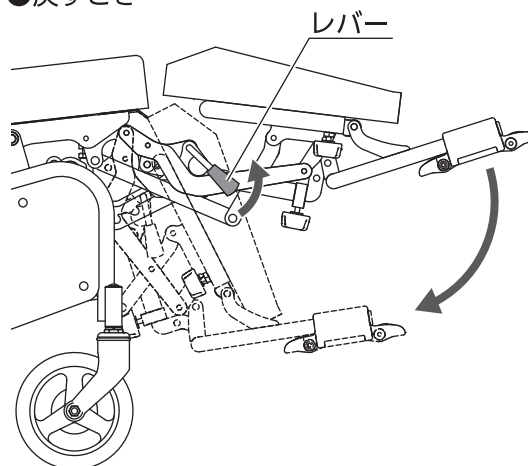
レッグサポートの角度調整

前項のレッグサポート単独設定のリクライニングのときは、リクライニングの角度に関係なくレッグサポートの角度が調整できます。レッグサポートをそのまま持上げると4段階に角度を調整できます。戻すときは、レッグサポートを支えながらレバーを図の矢印の向きに操作すると角度保持のロックが解除され最低位に戻ります。

●持上げるとき



●戻すとき



⚠ 注意

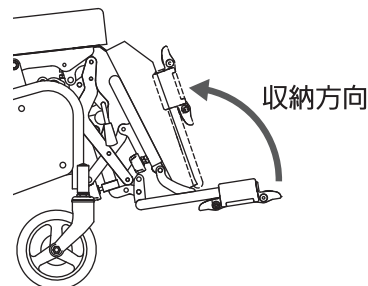


レッグサポート連動設定のリクライニングに切替えるために、切替えプランジャーを操作するときは、必ずバックサポートを完全に起こし、レッグサポートの角度を最低位に戻してから行ってください。

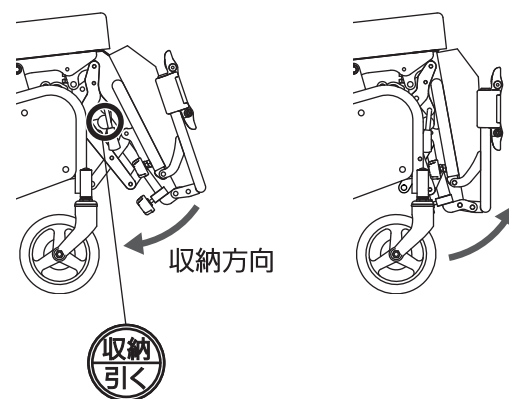
フットサポート・レッグサポートの収納方法

本製品は、フットサポートおよびレッグサポートを収納することができます。

前輪キャスターが図の位置となっていることを確認し、フットサポートを図のように跳上げて折りたたみます。



レッグサポートの角度が最低位の時、レッグサポート裏側にある収納用ノブを引っぱるとレッグサポートの固定ロックが解除されるので、そのまま押込むと収納できます。レッグサポート連動設定のリクライニング仕様のときは、バックサポートを完全に起こしたときに収納できます。レッグサポート単独設定のリクライニング仕様のときには、リクライニングの角度に関係なく収納できます。



⚠ 注意



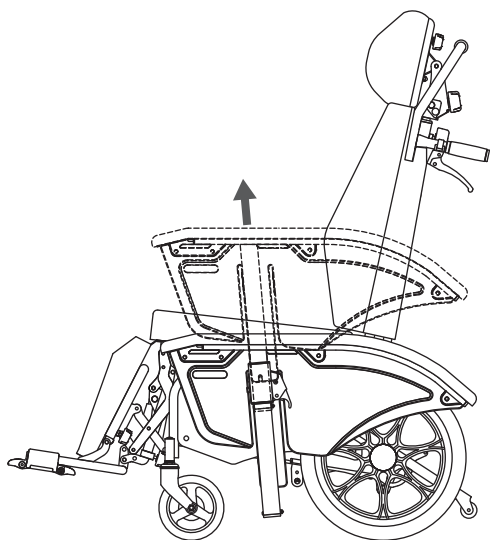
固定ロックが不完全な状態のまま使用されますと事故につながります。固定ロックが作動しない場合は、使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。

アームサポートの高さ調整

本製品は、アームサポートの高さを調整することができます。

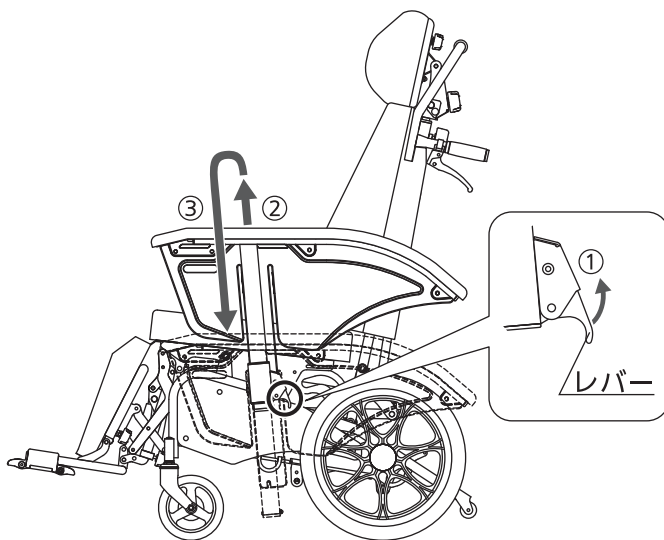
●高さを上げるとき

アームサポートを持ってそのまま持ち上げます。



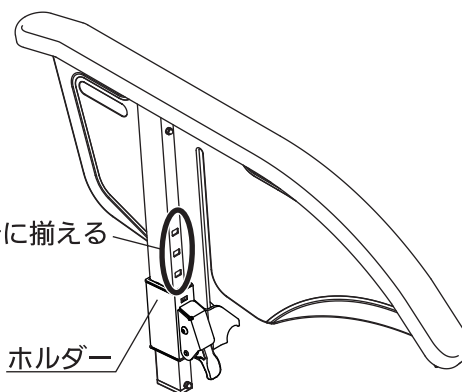
●高さを下げるとき

- ①片方の手でレバーを引きながら、
 - ②もう片方の手でアームサポートを一度持ち上げてから、
 - ③アームサポートを下げてください。
- アームサポートを一度持ち上げることでロックが解除され、高さを下げることができます。



ホルダー上部に見えている穴の数を合わせることで、左右のアームサポートの高さを簡単に揃えることができます。

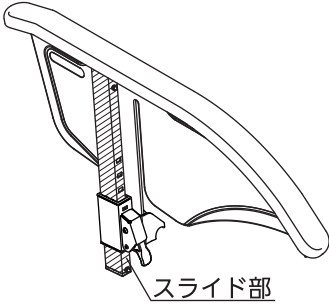
上部に見えている穴の数を目安に揃える



⚠ 危険

!	アームサポートの高さ調整後は必ずロックされていることを確認してください。 …ロックが不完全なまま使用されると、重大な事故の原因となります。
!	移動する前にはアームサポートを上げてください。 …アームサポートを下げたままご利用者を乗せて移動すると、ご利用者が本体から転落する恐れがあります。

⚠ 警告

	アームサポートのスライド部に付着したゴミやほこりはこまめに取除いてください。 …スライドにゴミやほこりが付着したまま使用すると、ロックが完全にかかっているかどうか分からない可能性があり、重大な事故を招く恐れがあります。	
	アームサポートの高さ調整は駐車用ブレーキをかけた状態で行ってください。 …本体が不意に動き、ご利用者が転落する恐れがあります。	

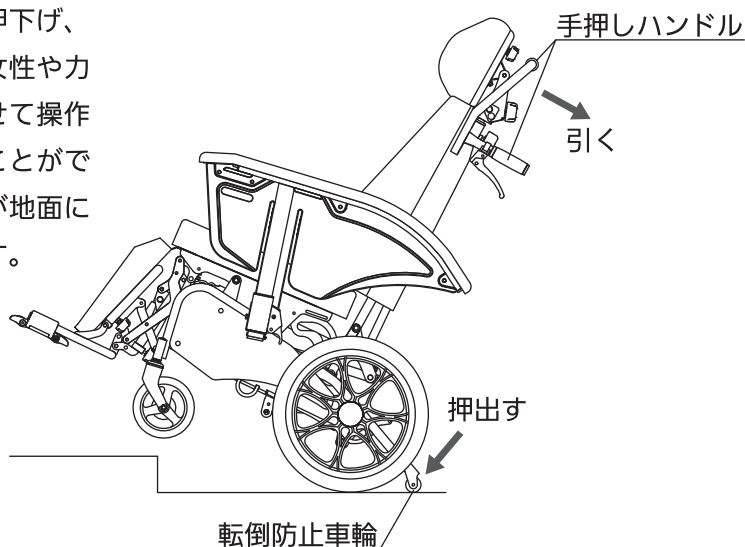
注意

	アームサポートの高さ調整をする際は、ご利用者の手をはさまないよう、アームサポートを持ってゆっくりと操作してください。
--	---

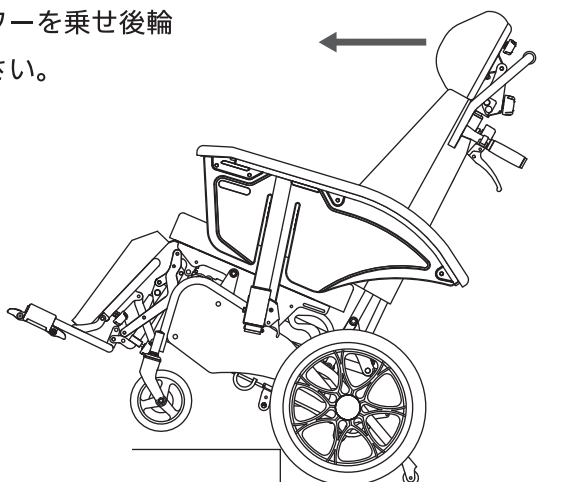
段差乗越え方法

本製品で移動中に段差を乗越える場合は、以下の手順で行ってください。

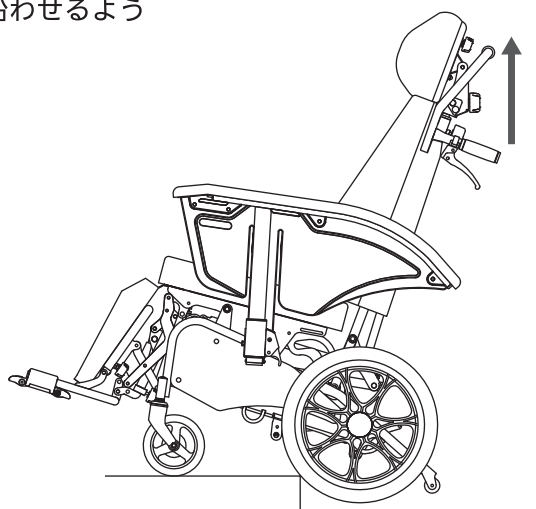
- ① 本体を段差に対して直角に近づけ転倒防止車輪の上部を前へ押出すように踏み、同時に手押しハンドルを後ろへ引っばるようにして押下げ、前輪キャスターを浮かせてください。(女性や力の弱い方などは少しリクライニングさせて操作すると楽に前輪キャスターを持上げることができます。)また、このとき転倒防止車輪が地面に接するようにすると移動が楽に行えます。



- ②そのまま前に進み、段上に前輪キャスターを乗せ後輪タイヤが段差に当たるまで進んでください。



- ③手押しハンドルを引上げ、後輪タイヤを沿わせるようにして段上に乗せてください。



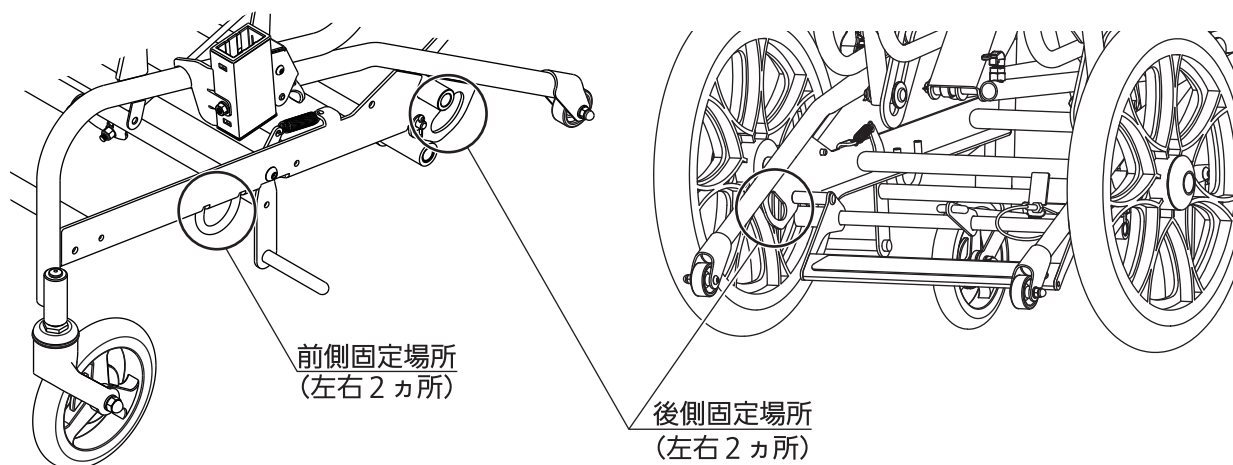
⚠ 警告

	前輪キャスターを持上げるときは必ず後輪タイヤは地面に接地させた状態のままで行ってください。 …転倒防止車輪のみで本製品を持上げると本体の故障および事故の原因になります。	×
	段差を降りるときには逆の手順で行ってください。	
	操作するときにはご利用者に声をかけ、様子を見ながらゆっくりと行ってください。	
	必要以上に後ろ（後輪タイヤ）を持上げないで下さい。 …ご利用者が本体から転落する危険があります。	
	坂道では登るときは前向きで、下るときは後ろ向きで走行してください。 …ご利用者が本体から転落する危険があります。	

使用方法

車載方法

ブレーキをかけて動かないことを確認してから車椅子用の固定フックをフレーム部の固定場所にかけ、固定装置を操作して本体を固定します。固定後は本体がしっかりと固定され固定フックにたるみがないことを確認してください。また、左右同じ位置にフックをかけてください。



⚠ 警告



本体がしっかりと固定されているか確認してください。

…本体がしっかりと固定されていないと車両走行中に本体が動き事故の原因となります。

⚠ 注意



急ブレーキ、急加速、急ハンドルなどの運転はしないでください。また、悪路の走行時は思いのほかゆれますので、速度を極力おとしてご利用者の負担にならないようにしてください。



本体の固定状態、ご利用者の状態などを適時確認してください。

日常のお手入れ

ご利用者の衛生管理のため、本製品を清潔に保つ必要があります。お手入れは、ご使用後または2～3日おきに行うことをおすすめします。また、お手入れされる時は使用前点検（本書12ページ参照）も行っていただくと、トラブルを防ぐこともでき、より安全にご使用いただけます。

お手入れ方法

●清掃

水で薄めた中性洗剤にタオルを浸し、固く絞って汚れを拭取ってください。

汚れを拭取った後は、乾いた布で水分を取除いてください。

注意

	クレンザー、みがき粉などの洗剤は表面を傷つけるため使用しないでください。
	塩素系の洗剤は使用しないでください。塩素系の洗剤が付着したときは、十分に水洗いしてください。 …金属部分は錆びます。クッションなどは変色、劣化します。

●消毒

金属、プラスチック部分は、エタノールによる清拭消毒をおすすめします。

各カバー類は濃度0.1%以下の次亜塩素酸ナトリウムで清拭消毒することもできます。

注意

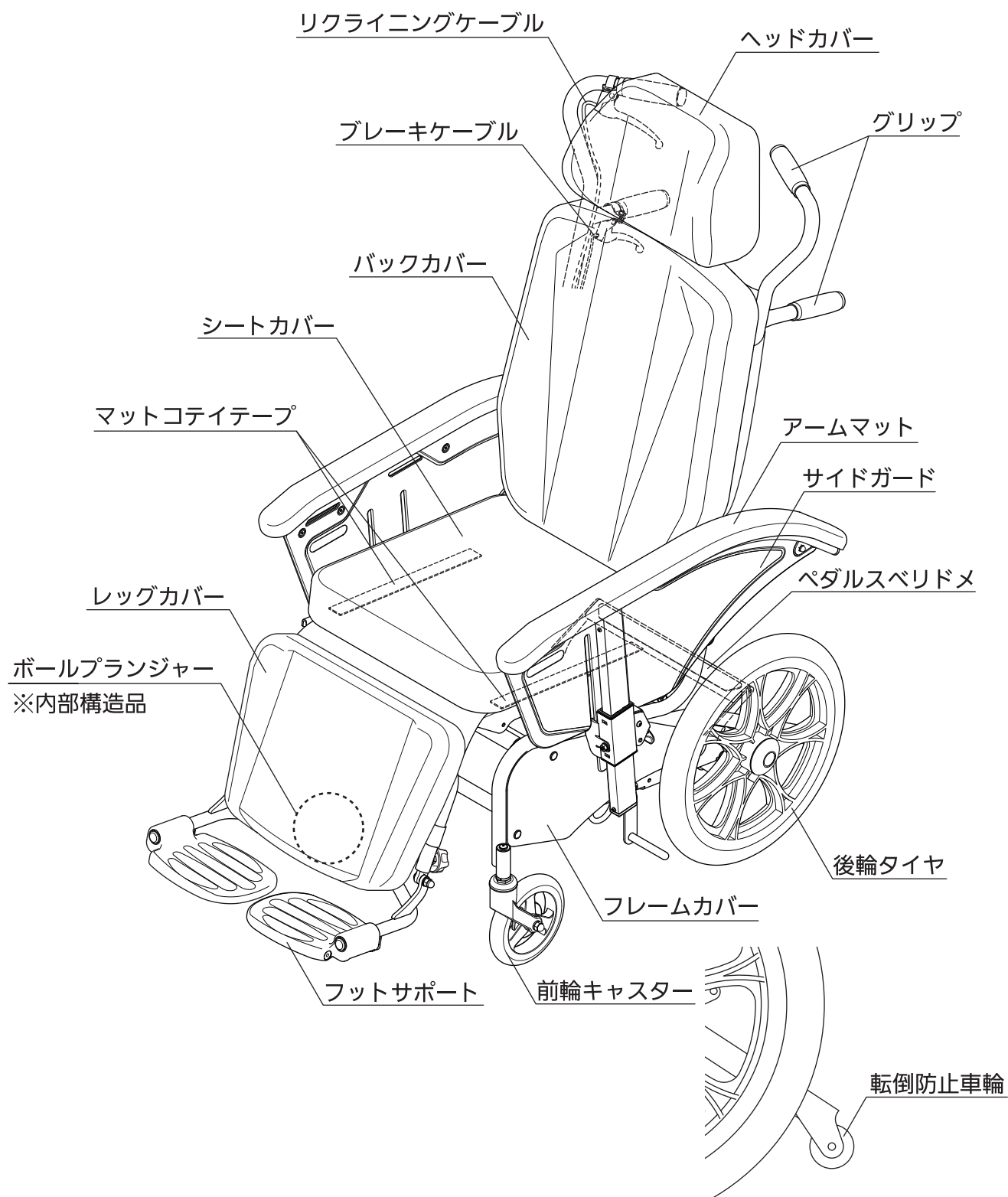
	熱湯や高温スチームによる消毒はしないでください。
---	--------------------------

●保管

使用しないときは、直射日光を避けて風通しの良い場所に保管してください。

注意

	薬品の揮発成分や腐食性ガスが充満する環境での保管、使用はしないでください。
	本製品周辺のことを薬品を使用して洗浄・消毒する場合には、本製品に薬品がかからないようにしてください。万一、本製品に薬品がかかった場合は、すみやかに水で洗い流してください。



消耗品の交換時期

消耗品（本書 28 ページ参照）が交換時期になっていないかご確認ください。
交換時期に該当するものは、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。

消耗品	交換時期	⚠ 注意
前輪キャスター	がたつきが大きくなったとき。 タイヤの表面にひび割れや劣化が 現れたとき。	転倒、ケガの原因になります。
後輪タイヤ	がたつきが大きくなったとき。 タイヤの表面にひび割れや劣化が 現れたとき。	転倒、ケガの原因になります。
ブレーキケーブル	インナーがのびてしまったとき。 アウターの破損がひどいとき。	
リクライニングケーブル	インナーがのびてしまったとき。 アウターの破損がひどいとき。	
ヘッドカバー バックカバー シートカバー レッグカバー	劣化したり、ほつれ、切れ目が現 れたとき。 ひどく汚れてきたとき。	
マットコティテープ	劣化、破損したとき。 粘着力が弱くなったとき。	
アームマット	変形、劣化、破損したとき。	
サイドガード	変形、劣化、破損したとき。	
フレームカバー	変形、劣化、破損したとき。	
転倒防止車輪	劣化、破損したとき。	
フットサポート	劣化、破損したとき。	
グリップ	劣化、破損したとき。	
ボールプランジャー ※内部構造品	ステップを収納したときに自重で 落ちてくるとき。	
ペダルスベリドメ	摩耗、劣化したとき。	

トラブルシューティング

次のトラブル・原因以外の場合、また、次の対処では解決しなかった場合は、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。トラブル解決までは、絶対に使用しないでください。

トラブル内容	主な原因	対処方法
本体ががたつく。	組付け部のゆるみ。 本体の取付け不良。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
前輪キャスターががたつく。	固定部のゆるみ。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
	前輪キャスターの劣化。	新しい前輪キャスターに交換してください。
後輪タイヤががたつく。	固定部のゆるみ。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
	後輪タイヤの劣化。	新しい後輪タイヤに交換してください。
ブレーキが効かない。	後輪タイヤの摩耗。	ブレーキを調整してください。 (本書 17 ページ参照)
	後輪タイヤのがたつき。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
リクライニング操作ができない。	ケーブルのインナーの伸び、 または破断。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
アームサポートがロックできない。		使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
アームサポートが下がらない。	安全のため、2重ロック構造となっています。	レバーを引きながらアームサポートを一度持上げてから下げてください。
リクライニング操作したときにレッグサポートが動かない。	切替えプランジャーが『単独』状態になっている。	切替えプランジャーを『連動』状態にしてください。 (本書 20 ページ参照)
レッグサポートが収納できない。	切替えプランジャーが『連動』状態で、バックサポートがリクライニングされている。	バックサポートを完全に起こしてから操作してください。 一度バックサポートを完全に起こしてから切替えプランジャーを『単独』状態にしてください。
	前輪キャスターが骨材と接触している。	故障ではありません。 レッグサポートの収納は前輪キャスターが後方に旋回しているときに使用することができます。

ご使用期間とアフターサービスについて

ご使用期間について

本製品は、標準的な使用環境と使用条件下で、取扱説明書にしたがって正しく使用した場合の標準使用期間を8年と定めています。この期間を超えて使用されますと、機能部品はもとより主要構造材も、経年劣化により破損する恐れが出てきます。使用期間が8年を超えた製品については、弊社同等製品への買い替えをお勧めいたしますが、引き続いての使用をご希望される場合は、必ず弊社各営業所にご連絡のうえオーバーホール^{※注2 注3}を受けてから使用してください。詳細につきましては弊社各営業所までお問い合わせください。

注1：標準使用期間と保証書に記された無償修理の保証期間とは異なるものです。

注2：オーバーホールは、その後の無償修理の保証を約束するものではありません。

注3：お客様の強いご希望で、使用期間終了後オーバーホールを受けずに本製品を使用される場合は、本製品を使用中に発生した、いかなる不具合ならびに事故に対して、弊社はその責任を負いません。

修理を依頼されるときは

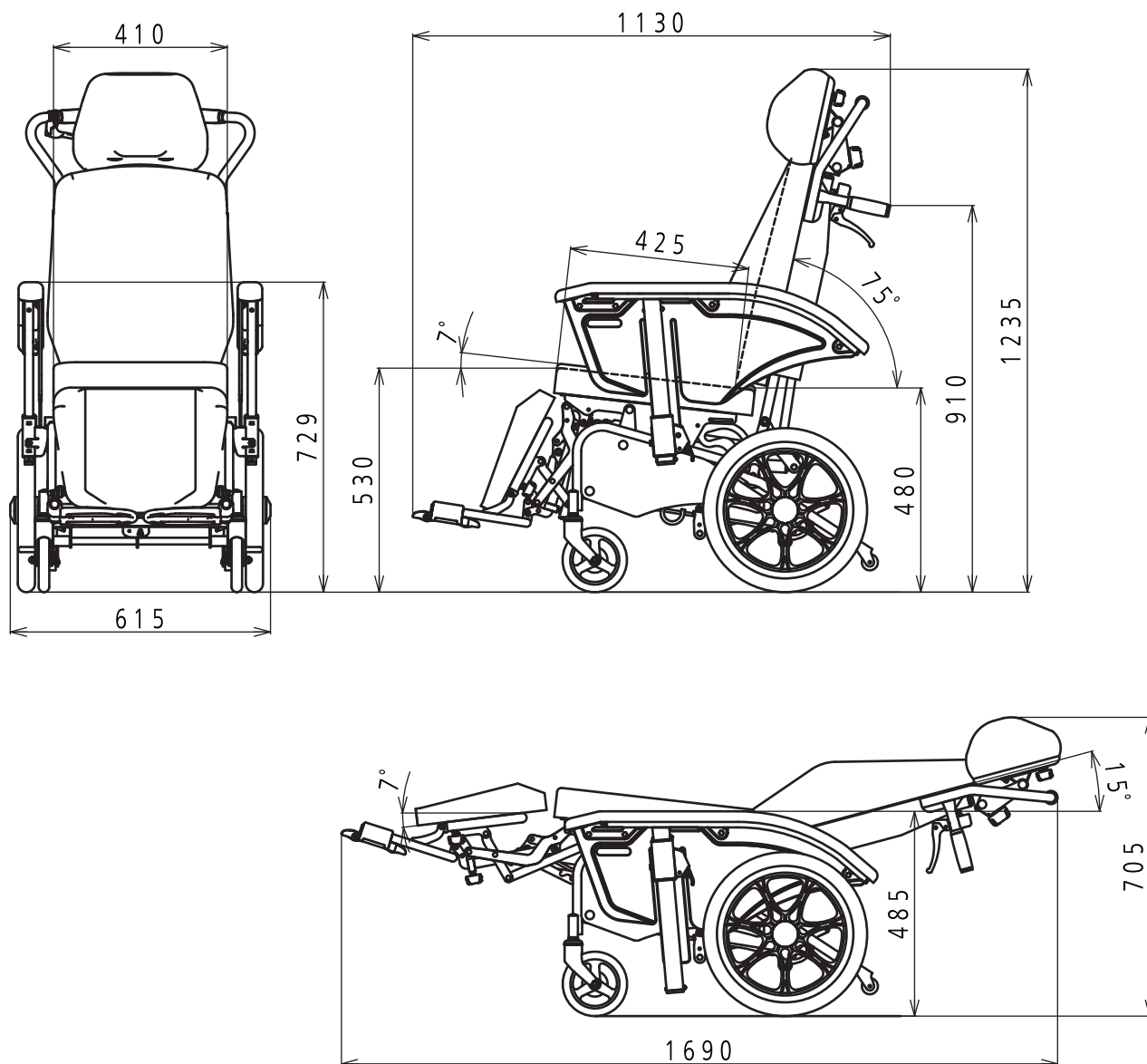
修理を依頼される前に取扱説明書をよくお読みになり、再度ご点検のうえ、なお異常がある場合、ご購入先または記載の弊社各営業所までご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

ご住所・ご氏名・電話番号

商品名・型番・製造番号・ご購入先・お買い上げ日

故障、または異常の内容（できるだけ詳しくお願いいたします。）



座面角度	7° ~ 20° (地面に対し)
背受け角度	75° ~ 15° (地面に対し)
アームサポート高さ	7段階調整 (485・584・613・642・671・700・729mm)
重量	40kg
耐荷重	100kg
前輪キャスター	6インチ
後輪タイヤ	16インチ

保証書

商品名 フルリクライニング車椅子

型番 RJ-370

本書は、本書記載の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、販売店に修理をご依頼ください。保証期間は、お買上げ後1ヵ年です。

〈無償修理規定〉

- 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった「正常な使用状態」において故障した場合には、無償修理をいたします。ただし、キャスター・タイヤの摩耗やパンク、シートの破れなど、交換時期となった取扱説明書記載の消耗品・交換部品は除きます。
- 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変、異常電圧による故障および損傷
 - 取扱説明書内に記載された使用目的以外に使用された場合の故障および損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本製品は、日本国内専用の仕様となっており、日本国外では使用できません。したがって、万が一、本製品を日本国外で使用された場合、本製品の故障および本製品の使用に伴って発生した損害に対して、弊社はその責任を負いません。

※ 弊社は、弊社または販売店から直接、本製品をご購入いただいた第1次ご購入者であるお客様に対してのみ、この保証書に基づく責任を負うものとします。第1次ご購入者様からの転売などにより本製品を保有されるお客様に対しては、この保証書に基づく責任を含め、一切の責任を負いません。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、販売店にお問合せください。

※ 保証期間終了後の修理については、取扱説明書内“ご使用期間とアフターサービスについて”をご覧ください。

製造元： 株式会社 **いうら**

本社・松山営業所：〒791-0214 愛媛県東温市南野田410番地6

TEL 089 (964) 7770 FAX 089 (964) 1522

URL <https://www.iura.co.jp>

※以下の項目は必ずご記入ください。

お客様	販売店
ご住所 〒 -	
お電話 - -	
お名前 様	
お買上げ年月日 年 月 日	



本社・松山営業所	〒791-0214	愛媛県東温市南野田 410 番地 6 TEL089(964)7770 FAX089(964)1522
東 京 支 店	〒174-0063	東京都板橋区前野町 2 丁目 30-24 TEL03(5939)8611 FAX03(5939)8612
札 幌 営 業 所	〒007-0834	北海道札幌市東区北 34 条東 26 丁目 2-18 TEL011(788)5334 FAX011(788)5341
仙 台 営 業 所	〒983-0034	宮城県仙台市宮城野区扇町 7 丁目 1-18 TEL022(781)6715 FAX022(781)6796
北 関 東 営 業 所	〒371-0801	群馬県前橋市文京町 4 丁目 20-17 TEL027(212)2066 FAX027(212)2067
名 古 屋 営 業 所	〒485-0012	愛知県小牧市小牧原新田 1660-3-D TEL0568(42)6015 FAX0568(71)9656
大 阪 営 業 所	〒564-0002	大阪府吹田市岸部中 4 丁目 8-30 TEL06(4860)6601 FAX06(4860)6602
福 岡 営 業 所	〒839-0841	福岡県久留米市御井旗崎 4 丁目 4-42 TEL0942(45)3808 FAX0942(45)3809

URL <https://www.iura.co.jp>